

PEFC ST 2002-1:2024 研修資料

ケーススタディ

1. 投入原材料の考慮、加工、生産品への主張

PEFC ST 2002-1:2024 の適用を認証範囲含に追加し、以下の投入原材料扱っているベトナムに本拠を置く PEFC および FSC 認証組織

(a) ベトナムの植林地からの非認証材

(b) ベトナムの植林地からの FSC 管理材

質問

1. これら 2 つの原材料は、PEFC EUDR 原材料カテゴリーではどのように分類されますか？
2. 規格第 5 章のどこに、これら 2 つの投入原材料に関するの規定が記述されていますか？
3. 納品書の一つに "混合樹種" と記載されている非認証の投入原材料について、これを受け入れることは可能ですか？ もしそうでなければ、どの指標にその要件が規定されていますか？あなたが認証取得組織であれば、次に何をしますか？
4. FSC 管理材の場合、EUDR の DDS の一環として、その原材料がリスクなしあるいは極小リスクであることを確認するため組織はどのようなステップを取ることができますか？
5. この組織は、PEFC EUDR DDS を実施し、これらの原材料を適切に加工したと仮定します。この原材料は、テーブルベースを作るために使用され、その

後、最終的な製造と組み立てのために輸出されます。そのテーブルベースに対する主張はどのようになりますか？

6. この組織がこの製品について顧客に伝える必要のある情報を挙げてください。

(次ページのケーススタディ)

2. EU への輸出、さらなる加工と販売

ベトナムの組織は、テーブルベースをポルトガルに輸出しています。

質問

1. PEFC ST 2002-1:2024 を認証範囲とするポルトガルの PEFC 認証輸入業者が、リスボンの港で貨物を受け取りました。輸入業者が税関を通し商品を受け取るために何をしましたか？
2. ポルトガルの輸入業者は無事通関手続きを終え、貨物を倉庫に運び、ポルトガルの家具メーカーに販売します。テーブルベースが家具メーカーに到着したときの原材料カテゴリーはどうなりますか？
3. ポルトガルの家具メーカーは、EU 域外から調達したテーブルベースとポルトガルから調達したオーク材とコルク材の天板を用いテーブルを製造している大企業です。同企業は、また、PEFC ST 2002-1:2024 を認証範囲に含む認証を取得しています。テーブルベースに関するすべての情報を輸入者から収集する必要がありますか？
4. 家具メーカーは、ポルトガルの PEFC 認証森林からオーク材とコルク（オークの木から）を購入しています。ここで適用される可能性のある様々な投入原材料カテゴリーについて説明しなさい。
5. オーク材とコルクには参照番号が付きますか？
6. 家具メーカーはオーク材とコルクについて EUDR の DDS を実施します。

どの表を使用すれば良いですか？

7. 家具メーカーが EUDR DDS を完了し、パーセンテージ方式を使用して、ベトナム産のベースとポルトガル産のオーク材とコルクの天板を使用したテーブルを作成したと仮定します。

製品に対する主張は何ですか？

8. 家具メーカーはこの製品について EU デューディリジェンス・ステートメントを作成する必要がありますか？
9. テーブルの天板が重量／体積でテーブルの 70% を占めると仮定します。メーカーはどのような主張をし、またロゴ・ラベルを使用する可能性がありますか？
10. この家具メーカーは現在、これらのテーブルをリスボン港のオペレーターに一括販売しており、そのオペレーターがスウェーデン、デンマーク、ギリシャ、英国に輸出しています。しばらくして、テーブルベースに使われていたベトナムの非認証材料に深刻な問題があることが判明しました。

この状況を誰に、どのようなタイミングで知らせる必要がありますか？

11. もしあなたが PEFC COC ポルトガルのトレーダーであり、このような通知を受け取ったとしたら、どうすべきですか？